

受験生の皆さんへ

海上保安官はその言葉通り、働く拠点の多くは海から近い場所にありますが、船の上で働く人は海上保安官の約半数であり、残りの半数は陸や空で働いています。海や空とこれまでに経験のないフィールドでの業務となるため、海上保安学校では全寮制とし、海上保安庁の一般職員に必要な学術及び技能の修得や心身の錬成を図ります。

この案内は、海上保安学校の教育内容や卒業後の勤務等がどのようなものかを、皆さんに知っておいていただくためのものです。**第2次試験当日までに必ずお読みください。**

また、記載内容等について質問のある方は、第2次試験の人物試験時に試験官にお尋ねください。

1 教育内容等

海上保安庁の職員として必要な知識・技能を修得し、強い精神力、忍耐力を養うため**2年間**の教育訓練を行います。

なお、学業成績が不良で成業の見込みがない者は卒業できません。

(教育科目等)

法律、海上犯罪捜査、海難救助等の海上保安業務科目、英語、運用管制官として必要な科目、端艇、水泳等の訓練科目、乗船実習等

2 学生生活

海上保安学校は全寮制で、「班」単位となり、同じ自習室・寝室で生活することとなります。日課表に従い規律ある団体生活を通じて海上保安官に必要な自律、協調精神及び責任感等を養います。

入学金、授業料等は一切不要で、学生生活に必要な制服や寝具等は貸与されます。教科書、食費、身の回り品等は自己負担ですが、国家公務員として毎月約20万円の給与や期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)が支給され、国土交通省共済組合員としての社会保障も受けられます。

3 卒業後の勤務地等

(1) 勤務地について

卒業後は全国転勤となり、主に各海上交通センターで勤務することとなります。勤務地については、本人の希望を尊重しますが、必ずしも希望通りにはいかない場合があります。その後は、概ね3年毎に各海上交通センターでの勤務又は希望や適性等を踏まえ、本庁・管区本部等での勤務があります。

(2) 勤務内容について

海上交通センターの運用管制官として勤務し、海上を行き交う船舶の動静を把握し、船舶の安全な航行に必要な情報の提供、大型船舶が航路に入航する間隔の調整、不適切な航行をする船舶や航路を塞いでしまう船舶への指導等を実施します。

(3) 勤務環境について

海上交通センターの運用管制官として勤務する場合、基本的に交代制勤務となり、日勤と夜勤の繰り返しとなります。

4 女性活躍推進等の各種取組みについて

海上保安庁では、男性職員に限らず女性職員も、海上保安学校長や管区本部次長、本庁課長、海上保安部署長、巡視船艇船長や船艇幹部、パイロット、海上交通センター運用管制官等、さまざまな業務に従事しています。

また、ライフワークバランスの推進に関する取組みを行っており、男女を問わず育児・介護を行いながら働き続けられるよう各種両立支援制度を整え、職員一人ひとりの事情に応じた活用を推進しています。

これにより、出産後に職場復帰する女性職員も多く、男性職員も育児に伴う休暇・休業を取得しています。



5 その他

海上保安学校での生活、具体的な業務内容、職場の雰囲気、処遇、キャリアパスなどへの不安や、職場見学や業務説明などをご希望される場合には、海上保安庁交通部企画課監理係（直通電話：03-3591-5650）にご相談ください。

運用管制官の業務については、海の管制官ポータルサイト、YouTube 及びリーフレットで紹介しておりますので、是非参考にしてください。



<海の管制官ポータルサイト>



<海の管制官のお仕事 職場体験!!>



<海の管制官大募集>



<海の管制官募集リーフレット>

※二次元コードを長押しすることで、リンク先にアクセスできます。

また、海上保安庁の業務などをより知ることができるホームページ、SNS により情報発信していますので、是非参考にして下さい。

※二次元コードをタップすることで、リンク先にアクセスできます。

海上保安庁採用
HP



採用 X



Instagram



調 査 票

この調査票は、第2次試験当日に持参してください。
航空課程受験者にあつては、第3次試験当日に持参してください。

この調査票は、最終合格者に対し、採用内定をする上で必要となりますので、出来るだけ詳細に漏れなく記入してください。
特に※印については、電話等での連絡時に必要となりますので、確実に連絡をとることができる連絡先を記載してください。
また、本票は、第2次試験当日の試験終了後に回収しますので、忘れず持参してください。(航空課程受験者にあつては、第3次試験当日に回収します。)

1. 住所等調査票(海上保安学校全課程対象)

| | | | | |
|--|------------------|--|-----------------------------------|--|
| 試験区分 海上保安学校 <input type="checkbox"/> 一般課程 <input type="checkbox"/> 航空課程 <input type="checkbox"/> 管制課程 <input type="checkbox"/> 海洋科学課程 | 第1次試験地 都市 | 受験番号 本籍地(都道府県のみ) | 氏名(ふりがな) 生年月日 昭和・平成 年 月 日生 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 現住所(ふりがな) (〒 -) | | ※現住所の連絡先 自宅 [- -] | | |
| 【建物名・部屋番号まで記入してください】 (様方) | | ※【本人・親族・その他()】の連絡先 電話 [- -] メール [@] | | |
| 上記以外(高等学校・専門学校・大学等・会社・親族等)の住所及び学校・会社名等について記載してください。(上記連絡先で不在時等に使用) | | ※【上記以外(高校・専門学校・大学等・会社・親族等)】の連絡先 | | |
| 上記以外の住所及び学校・会社名等(ふりがな) (〒 -) | | 電話 [- -] | | |
| 【学校・会社名まで記入してください】 (様方) | | ※【本人・親族・その他()】の連絡先 電話 [- -] メール [@] | | |

2. コース・管区希望調査票 (「一般課程」受験者のみ記入して下さい。)

海上保安学校の「一般課程」の「航海・機関・通信・主計コース」は、採用時にコースと配属管区を決定します。また、「一般課程」の「航空整備コース」は、【全国転勤】となります。決定されたコース及び配属管区の変更はできませんので、ご家族あるいは学校の先生等とよく相談の上記入して下さい。

また卒業後は配属管区内の巡視船等に配属され、その後、原則として配属管区内の巡視船や海上保安部署、海上交通センター等を転勤していくことになります。記入にあたっては、将来にわたって当該管区で勤務することを念頭に置き、希望するコース・管区を選んで下さい。

| 希望順位 | コース名 | 航海 | 機関 | 通信 | 主計 | 整備 |
|------|------|----|----|----|----|----|
| 第1希望 | コース | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 第2希望 | コース | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 第3希望 | コース | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 第4希望 | コース | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 第5希望 | コース | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

希望するコースを第5希望まで全て記入し、記入したコースに該当する番号をそれぞれ塗ってください。

- ①航海コース ②機関コース ③通信コース
④主計コース ⑤航空整備コース

| | |
|---------|---|
| 管区優先 | ① |
| コース優先 | ② |
| どちらでも良い | ③ |

最も優先する事項を1つだけ塗ってください。

| | |
|----------|---|
| 航空整備でも良い | ① |
| 航空整備は要検討 | ② |

①か②のいずれか1つだけ塗ってください。

| 希望管区 | 第1希望 | 管区 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ |
|------|------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第2希望 | 管区 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | |
| 第3希望 | 管区 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | |

希望する管区を第3希望まで全て記入し、記入した管区に該当する番号をそれぞれ塗ってください。

- ①第一管区 ②第二管区 ③第三管区 ④第四管区
⑤第五管区 ⑥第六管区 ⑦第七管区 ⑧第八管区
⑨第九管区 ⑩第十管区 ⑪第十一管区

| 資格種類 | あり | なし | 資格名 |
|---------|----|----|-----|
| 海技士資格 | ① | ② | |
| 無線従事者資格 | ① | ② | |
| 航空整備士資格 | ① | ② | |
| 調理士免許 | ① | ② | |

受有する資格がある場合は資格名を記載し、①を塗ってください。

受有する資格がない場合は②を塗ってください。

※受有する資格は参考として聴取しているもので、合否やコース決定への影響はありません。

※上記に記載した希望は第2次試験日に、受験生自身でマークシート本紙に転記します。第2次試験日に転記誤りをしないよう、はっきりと記載しマークするようお願いいたします。本調査票と第2次試験日に記入したマークシート本紙で、記入内容が異なる場合は第2次試験日に記入したマークシートに基づき配属管区・コースを決定します。

※入学後、学業成績が不良で成業の見込みがない者は退学となります。